



平成 26 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 スパークス・グループ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 阿部 修平
(コード 8739 東証JASDAQスタンダード)
問い合わせ先 経営管理部長 峰松 洋志
電 話 番 号 03-6711-9100
U R L <http://www.sparx.jp/>

上場インフラファンド市場への参入準備開始のお知らせ

当社は、平成 26 年 7 月 30 日開催の取締役会において、下記のとおり東京証券取引所が開設を計画している上場インフラファンド市場への参入を目指すことを決議しましたので、お知らせいたします。

今後は、当社子会社であるスパークス・アセット・トラスト&マネジメント株式会社（代表取締役 深見 正敏。以下「SATM 社」）が、当該市場への上場に向けて必要となる行政庁の認可等の取得を目指すとともに、体制の整備等、投資法人形態での上場を目指した具体的な準備を進めてまいります。

記

1. 概要

当社グループは、既に、東京都が一部出資する官民連携インフラファンドの運用事業者として、社会資本整備における長期的かつ安定的な資金循環システムの構築と、喫緊の課題である電力の安定供給に資するため、関係各位との協働により発電事業に具体的に参画してまいりました（官民連携インフラファンドを含めた当社グループが運用事業者であるファンドにおける投資実績については、下記「5. ご参考」をご参照下さい）。「日本における再生可能エネルギー等による発電を中心とするインフラファンドのパイオニア」として更に深化すべく、国内外の投資家に対して長期的に安定したキャッシュフローを産み出す魅力ある投資商品をご提供することに取り組んでおります。

また、平成 26 年 3 月 26 日「ジャパンアセットトラスト株式会社(※)の株式取得及び簡易株式交換による完全子会社化のお知らせ」の通り、主として当社グループが進める不動産関連投資ファンド等におけるシナジー効果を念頭に同社を買収し、当社グループにおける実物資産運用ビジネスの中核会社と位置づけて統合作業を進めてまいりました。

このような状況の下、必要な行政庁の認可等を取得することを前提に、実物資産運用ビジネスを行う SATM 社を運用会社として、東京証券取引所が開設を計画している上場インフラファンド市場への参入を目指すことといたしました。

※ジャパンアセットトラスト株式会社は、平成 26 年 4 月 16 日付で、商号をスパークス・アセット・トラスト & マネジメント株式会社（SATM 社）へ変更しております。

2. 決定の理由

日本におけるインフラ投資は、今後、巨額の更新投資が想定されるどころ、国、地方公共団体等における財政出動の余地が限られており、上場インフラファンド市場の開設によって、これまで政府や企業が自らのバランスシートで抱えてきたインフラという実物資産をオフバランス化する道が拓かれることとなります。また、上場インフラファンド市場の多くの投資家が、自らもインフラの利用者となり得ることを考えると、同市場の開設によって投資家・利用者間で「資金循環サイクル」が構築され、我が国全体の投資効率が向上するものと考えております。

このように上場インフラファンド市場の開設は誠に意義深いものであることから、当社グループは、当該市場への参入を目指したいと考えております。

また当社グループは、創業来、主として株式投資の領域において、常に新しい投資領域を開拓してきた実績があり、その投資哲学と伝統は再生可能エネルギー発電施設を始めとした実物資産への投資にも、連綿と継承されていると自負しております。実物資産投資は、対象資産の状況、規制環境、投資手法や投資チームの人材確保等ローカルな特殊性の強い分野と考えておりますが、当社グループは、各分野における一流のビジネス・パートナーの皆様とともにメガソーラーへの投資を一から開発・実行することによって、そのノウハウを地道に蓄積してまいりました。

このような状況の下、当社グループは、これまでの実物資産投資で培ってきた調査分析能力と実務実行能力に加え、ボトムアップ・アプローチをベースとした投資のプロフェッショナルであるという強みを生かし、日本国内で稼働している再生可能エネルギー発電施設（当面は主に太陽光発電施設を想定）へ投資を通じて上場インフラファンドの長期安定的な運営を目指すことで、上場インフラファンド市場という新たなフィールドにおける実業とファイナンスの架け橋になることができると考えております。

3. 業績への影響

上場インフラファンド市場への参入によって、当社グループ内において資産運用報酬等が発生することとなりますが、インフラファンド市場の開設時期等は現在未定のため、平成 27 年 3 月期の当社連結業績に与える影響及び来期以降における連結業績への影響及びその詳細等は現時点では判明しておりません。今後、詳細等が判明し適時開示の必要性が生じた場合には、その内容を速やかに開示いたします。

4. 今後の見通し

当社グループは、これまで主として株式の運用ビジネスを展開してまいりましたが、今後は、再生可能エネルギー発電施設等実物資産の運用ビジネスを、収益の第 2 の柱へと本格的に成長させることによって収益性を更に安定させ、株式市場の変動に影響を受ける当社の経営体質を強化することで、企業価値を高めてまいります。

5. ご参考

- (1) 官民連携インフラファンドを含めた当社グループが運用事業者であるファンドにおける投資実績（2014（平成26）年7月30日時点）

	所在地	出力規模 (MW)	総事業費* (億円)	運転開始時期
芦北メガソーラー	熊本県	8.0	34	2013年12月
佐賀メガソーラー	佐賀県	1.8	7	2013年10月
釧路メガソーラー	北海道	21.7	85	2015年5月（予定）
秋田メガソーラー	秋田県	2.7	9	2013年12月
嬭恋メガソーラー	群馬県	2.2	9	2014年1月
中井メガソーラー	神奈川県	9.8	39	2015年4月（予定）
富山メガソーラー	富山県	7.7	28	2015年3月（予定）
市原メガソーラー	千葉県	2.9	11	2015年2月（予定）
栗原メガソーラー	宮城県	15.1	48	2016年4月（予定）
福島松川メガソーラー	福島県	2.7	9	2015年3月（予定）
その他（1件）	—	2.2	7	2015年3月（予定）
合計	—	76.8	286	—

*総事業費は概算

- (2) SATM社の概要

社名	スパークス・アセット・トラスト&マネジメント株式会社 (旧社名：ジャパンアセットトラスト株式会社)
本店所在地	東京都品川区東品川2-2-4 天王洲ファーストタワー
代表者	代表取締役社長 深見正敏
株主	スパークス・グループ株式会社（100%）
資本金	1億円（2014（平成26）年3月31日現在）
事業内容	不動産アセットマネジメント業、ファンド組成に関するコンサルティング業、宅地建物取引業等
設立	2006（平成18）年5月10日

以上